

令和7年度農作物病害虫発生予察技術資料第1号

令和7年(2025年)5月13日
山口県病害虫防除所

コナガの発生状況に注意してください

5月上旬にコナガが予察灯で多数誘殺されました。今後、キャベツ、コマツナ、ブロッコリー等のアブラナ科野菜類で幼虫による被害が発生することが懸念されます。このため、ほ場での発生状況をよく確認し、発生を認めたら防除を徹底してください。

1 発生状況

- (1) 4月1日～5月5日の予察灯における誘殺数（県内3か所合計）は、569頭（平年62.8頭）で、平年に比べ多かった。また、5月3日に著しい数の誘殺が確認された（図1）。
- (2) 4月1日～5月10日の防府市牟礼のフェロモントラップにおける誘殺数は、22（前年5頭）であった（図2）。

2 防除対策

- (1) ほ場をよく観察を行い、コナガ幼虫の発生及び表皮が透ける白斑状の食害痕（写真1）が認められる場合には、直ちに防除を行う。
- (2) 防除薬剤は、農作物病害虫・雑草防除指導基準を参考に選定する。
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22316.html>
- (3) 散布後も防除効果をよく確認し、発生が継続するようであれば追加散布を行う。

3 防除上注意すべき事項

- (1) コナガは多くの薬剤に抵抗性が発達しているため、散布後には効果を確認するとともに、同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤のIRACコードを参照する）。
- (2) コナガは、ジアミド系（IRACコード：28）やオキサジアジン系（IRACコード：22A）等の農薬について、防除効果が低下しているとの報告がある。
- (3) 薬剤散布の際には、農薬使用基準を遵守するとともに、周辺作物への飛散を防止する。



写真1 食害痕



写真2 老齢幼虫
(体長1 cm程度)



写真3 成虫
(体長1 cm程度)

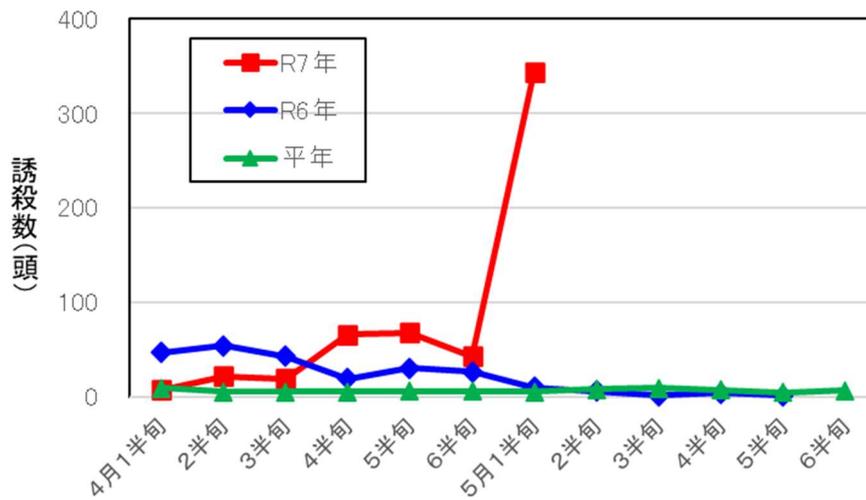


図1 予察灯におけるコナガの誘殺数の推移 (県内3か所合計)

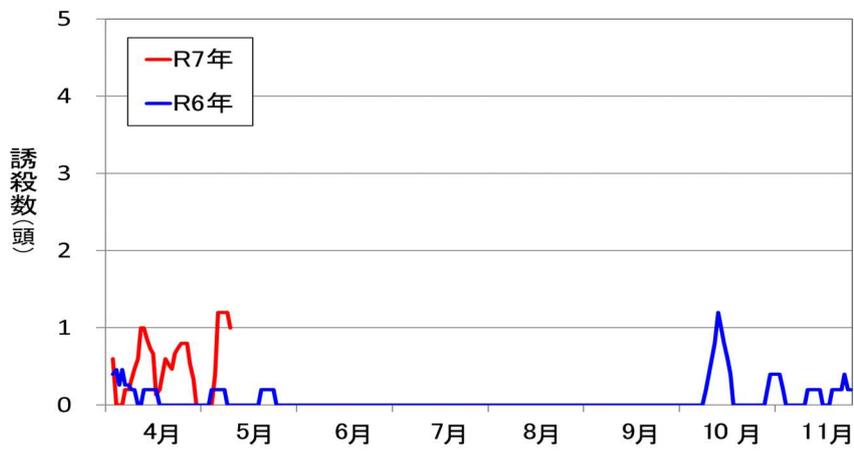


図2 フェロモントラップにおけるコナガの誘殺数の推移 (防府市牟礼)
*移動平均